

# 口永良部島の噴火に係る関係省庁災害対策会議

## 議 事 次 第

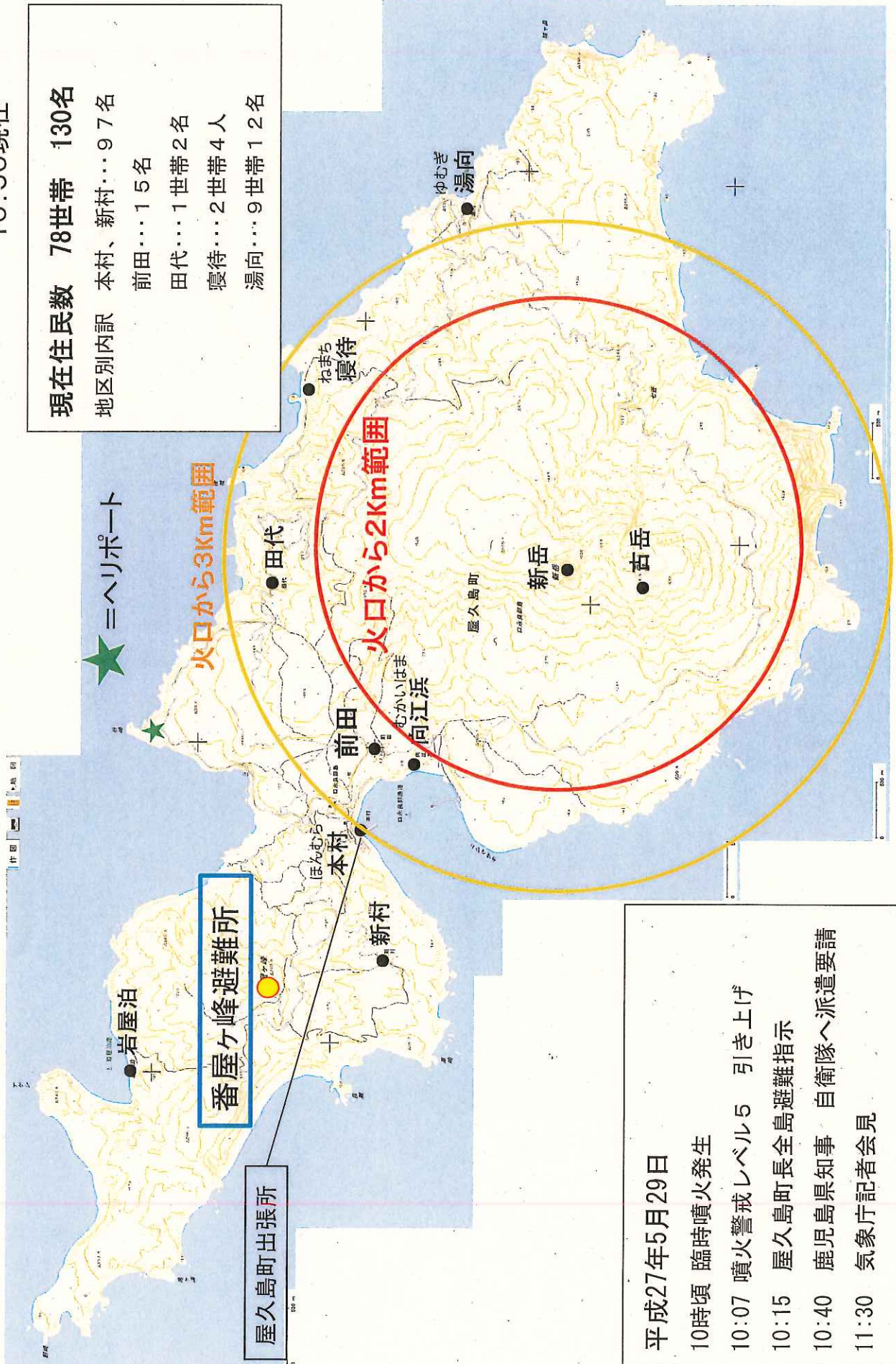
日時：平成27年5月29日（金）11：00～  
場所：合同庁舎8号館3階 災害対策本部会議室

1. 山谷内閣府特命担当大臣（防災）挨拶
2. テレビ会議（鹿児島県庁）
3. 今後の火山活動の見通し
4. 各省庁の対応状況
5. その他



# 口永良部島

平成27年5月29日  
10:50現在



<b>現在住民数</b>	<b>78世帯</b>	<b>130名</b>
地区別内訳	本村、新村…	97名
	前田…	15名
	田代…	1世帯2名
	寝待…	2世帯4人
	湯向…	9世帯12名

★ = ヘリポート

火口から3Km範囲

火口から2Km範囲

番屋ヶ峰避難所

屋久島町出張所

- 平成27年5月29日
- 10時頃 臨時噴火発生
- 10:07 噴火警戒レベル5 引き上げ
- 10:15 屋久島町長全島避難指示
- 10:40 鹿児島県知事 自衛隊へ派遣要請
- 11:30 気象庁記者会見

火山名 口永良部島 噴火警報（居住地域）

平成27年5月29日10時07分 福岡管区気象台・鹿児島地方気象台

＊＊（見出し）＊＊

<口永良部島に噴火警報（噴火警戒レベル5、避難）を発表>

対象とする居住地域では厳重な警戒（避難等の対応）をしてください。

<噴火警戒レベルを3（入山規制）から5（避難）に引上げ>

＊＊（本文）＊＊

1. 火山活動の状況及び予報警報事項

新岳では、本日（29日）09時59分に爆発的噴火が発生しました。この噴火に伴い、火砕流が発生し、海岸まで達しました。

火砕流の到達が予想される屋久島町口永良部島居住地域では厳重な警戒（避難等の対応）をしてください。

2. 対象市町村等

以下の市町村では、当該居住地域で避難などの厳重な警戒をしてください。

鹿児島県：屋久島町

3. 防災上の警戒事項等

火砕流の流下が切迫している居住地域では、厳重な警戒（避難等の対応）をしてください。

屋久島町の避難等の指示に従ってください。

<噴火警戒レベルを3（入山規制）から5（避難）に引上げ>

＊＊（参考：噴火警戒レベルの説明）＊＊

【レベル5（避難）】：危険な居住地域からの避難等が必要。

【レベル4（避難準備）】：警戒が必要な居住地域での避難の準備、災害時要援護者の避難等が必要。

【レベル3（入山規制）】：登山禁止や入山規制等危険な地域への立入規制等。状況に応じて災害時要援護者の避難準備等。

【レベル2（火口周辺規制）】：火口周辺への立入規制等。

【レベル1（平常）】：状況に応じて火口内への立入規制等。

(注：避難や規制の対象地域は、地域の状況や火山活動状況により異なる)

なお、(平常)のキーワードについては、平成27年5月18日から(活火山であることに留意)に変更しました。システム改修により情報文に反映されるまでの間は、読み替えで対応いただきますようお願いいたします。

# 口永良部島の噴火状況等について

※これは速報値であり、数値等は今後も変わることがある。

平成 27 年 5 月 29 日

10 時 30 分 現在

内 閣 府

## 1. 対応の状況

### (1) 活動状況

- 9 時 59 分、噴火
- 10 時 07 分、気象庁、噴火警戒レベル 5 発表
- 10 時 07 分、官邸対策室、内閣府災害対策室設置
- 10 時 15 分、屋久島町長から全町民に当該避難指示。
- 10 時 40 分、鹿児島県から災害派遣要請（避難に関するヘリコプター支援）
- 11 時 00 分、先遣チーム出発（審議官ヘッド）

### (2) 被害状況

- 確認中

### (3) 避難状況

- 番屋ヶ峰に向かって避難。その後島外避難の予定。

以下、5月25日10時30分時点の状況

## 1. 火山活動の状況

### (1) 活動状況（気象庁臨時火山解説情報：5月23日10:45）

- ・口永良部島（鹿児島県屋久島町）では、本日7時頃から島内を震源とする地震が多い状態になっている。8時に発生した地震では、屋久島町口永良部島で震度3を観測した。震度1以上を観測したのは2015年1月24日以来。火山性微動は観測されていない。なお、火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）は継続。
- ・本日、気象庁機動調査班（JMA-MOT）が実施した現地調査は、新岳火口からの活発な噴煙や同火口の西側割目付近からの噴気を引き続き確認した。新岳火口西側部分の熱異常域は引き続き認められる。
- ・以上のように火山活動の高まりがみられており、今後爆発力が高い噴火や規模の大きな噴火に移行する可能性がある。
- ・本日の火山性地震の発生回数は以下のとおり（速報値を含む）。

火山性地震	
00～06時	0回
07時	2回
08時	11回
09時	0回
10時まで	0回

### (2) 防災上の警戒事項等（気象庁臨時火山解説情報：5月23日10:45）

- ・火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒。
- ・向江浜地区から新岳の南西にかけて、火口から海岸までの範囲では火砕流に警戒。
- ・風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため注意。
- ・降雨時には土石流の可能性があるので注意。

### (3) 気象庁連絡事項（内閣府調べ：5月25日10:00）

- ・今後、島内を震源とする震度1以上の地震が24時間以内に複数回発生した場合、新岳火口から概ね2kmの範囲を超えて噴石を飛ばすような噴火が発生（ただし居住地域に影響なし）した場合など、さらに火山活動が高まった場合には直ちに噴火警戒レベルを4（避難準備）に引き上げ。
- ・また、新岳火口から概ね2kmの範囲を越えて噴石を飛ばすような噴火が発生（居住地域に影響あり）した場合、概ね3km程度の範囲で噴石を飛ばすような噴火が発生した場合などは、直ちにレベル5（避難）に引き上げ。

## 2. 避難等の状況

23日

11:30 屋久島町 口永良部全島に対し、避難準備について呼びかけ

《《住民等の状況》》(鹿児島県情報)

住民: 130名(78世帯)

来島者: 5名

行政関係者: 6名

計141名

## 3. 各府省庁の主な対応

### (1) 内閣府の対応

・情報対策室設置(5月23日10:45)

## 4. 関係機関、関係地方自治体の対応

### (1) 口永良部島火山防災連絡会の対応

23日

16:00 コアグループ会議開催(鹿児島県、屋久島町、気象台ほか)

(鹿児島県庁、県屋久島事務所のテレビ会議。屋久島町等は県事務所で出席)

### (2) 鹿児島県の対応

23日

11:51 情報連絡会議実施(県・気象庁・気象台出席)

12:30 鹿児島県熊毛支庁 情報収集体制

12:35 県災害警戒本部 活動開始

### (3) 屋久島町の対応

23日

11:00 屋久島町災害対策本部 情報収集体制

臨時火山解説情報(気象庁)を受けて、住民に対し防災行政無線による情報提供を実施

16:10 口永良部島住民説明会(気象台出席)

(気象台火山機動観測班より、今朝の地震と火山活動の説明、レベル引き上げの考え方について説明)

《《昨日(24日)の現地の動き及び本日(25日)の予定》》(5月25日10:00現在)

・昨日(24日)は、コアグループ会議、住民説明会を実施せず

・本日(25日)の活動は未定(現在のところ特段の予定なし)



状況

- ① 昨年8月3日、噴火が発生したことから、噴火警戒レベル3(入山規制)を発表(警戒範囲:火口から2km)。以降、毎日火山活動の状況を地元自治体へ提供
- ② 本年3月24日以降、火映※を観測、そのため気象庁は観測班を常駐化 ※火映は赤熱した溶岩や高温のガス等が、噴煙や雲に映って明るく見える現象
- ③ 5月23日、火山直下を震源とする震度3の地震を観測。地元の火山防災連絡会が開催され、情報共有と防災対応の確認がなされるとともに、屋久島の住民説明会において気象庁から活動状況を説明
- ④ その後現在まで、地震活動は低調な状態。震度1以上の地震も観測されていない。今後、震度1以上の地震が複数回発生した場合はレベル4への引き上げを検討(地元自治体は、この場合、住民の避難を計画)

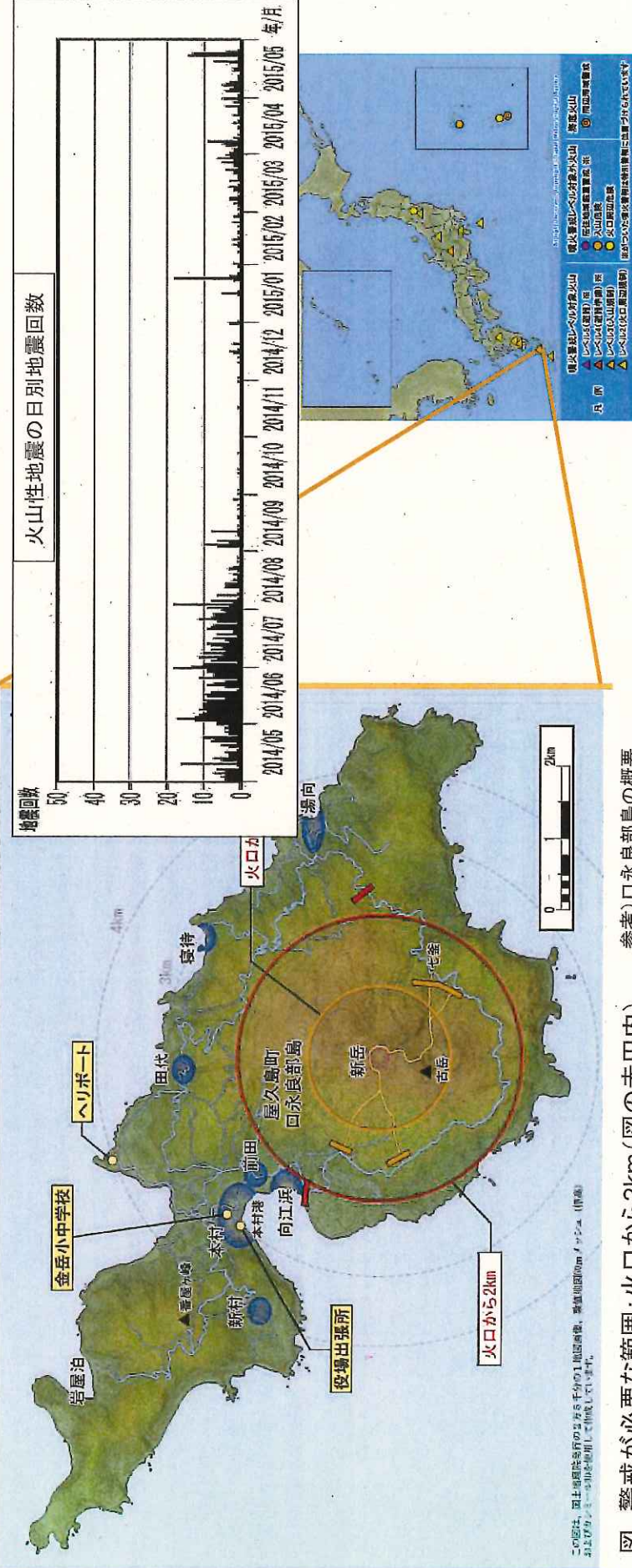


図 警戒が必要な範囲:火口から2km(図の赤円内)

参考)口永良部島の概要

- 屋久島の西側に位置する離島
- 約141名が島内に滞在(住民等135名、屋久島町職員4名、気象庁職員2名)
- 居住地は、新岳の北西2km以遠に存在

# 口永良部島の噴火警戒レベル

— 火山災害から身を守るために —

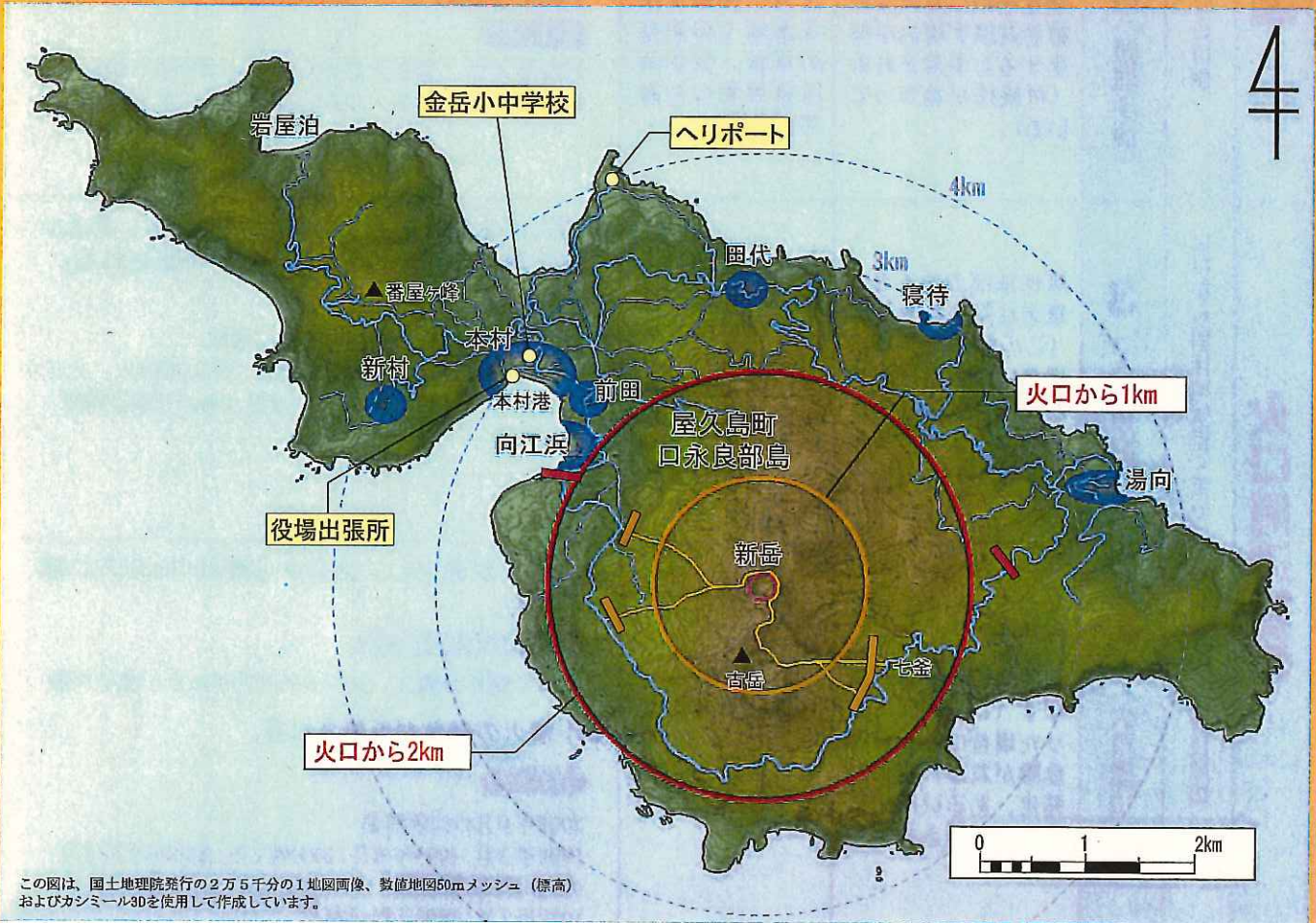
## 噴火警報等で発表する 噴火警戒レベル

- 噴火警戒レベルとは、噴火時などに危険な範囲や必要な防災対応を、レベル1から5の5段階に区分したものです。
- 各レベルには、火山の周辺住民、観光客、登山者等のとるべき防災行動が一目で分かるキーワードを設定しています（レベル5は「避難」、レベル4は「避難準備」、レベル3は「入山規制」、レベル2は「火口周辺規制」、レベル1は「活火山であることに留意」）。
- 対象となる火山が噴火警戒レベルのどの段階にあるかは、噴火警報等でお伝えします。



口永良部島 南側上空から撮影 第十管区海上保安部の協力による

### ■口永良部島 噴火警戒レベルに対応した規制範囲



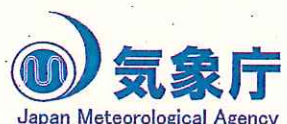
この図は、国土地理院発行の2万5千分の1地図画像、数値地図50mメッシュ（標高）およびカシミール3Dを使用して作成しています。

●噴火警戒レベルに応じて下記のような防災対応が必要になります。

- レベル5（避難）：危険な居住地域からの避難
- レベル4（避難準備）：警戒が必要な居住地域での避難準備。要援護者は避難等。
- レベル3（入山規制）：火口から概ね2km以内の立入禁止 ○の範囲内
- レベル2（火口周辺規制）：火口から概ね1km以内の立入禁止 ○の範囲内
- レベル1（活火山であることに留意）：状況に応じて火口内への立入規制等。

— 一般道	■ レベル3の規制箇所
— 登山道	■ レベル2の規制箇所
○ 新岳火口	
● 居住区域	

■この図は口永良部島防災情報図（鹿児島県地域防災計画）を元に屋久島町等と調整して作成しています。  
 ■各レベルにおける具体的な規制範囲等については、地域防災計画等で定められていますので、詳細については屋久島町にお問い合わせください。



福岡管区気象台火山監視・情報センター  
 TEL: 092-725-3606 <http://www.jma-net.go.jp/fukuoka/>  
 ■鹿児島地方気象台 観測予報課 TEL: 099-250-9916  
<http://www.jma-net.go.jp/kagoshima/>

本冊子は、FSC認証紙および植物油インクを使用しています。



# 口永良部島の噴火警戒レベル

予報警報	対象範囲	レベル (キーワード)	火山活動の状況	住民等の行動及び登山者・入山者等への対応	想定される現象等
噴火警報	居住地域及びそれより火口側	5 (避難)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫している状態にある。	危険な居住地域からの避難等が必要。	●噴火が発生し、噴石や火砕流、溶岩流が居住地域に到達、あるいはそのような噴火の発生が切迫している。 <b>過去事例</b> 1966年11月：噴石が火口から約3.5kmまで飛散
		4 (避難準備)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想される（可能性が高まっている）。	警戒が必要な居住地域での避難の準備、災害時要援護者の避難等が必要。	●噴火が拡大し、噴石や火砕流、溶岩流が居住地域に到達することが予想される。 <b>過去事例</b> 1931年4月：新岳火口から約2kmまで噴石飛散 1841年8月：新岳火口から約2kmまで噴石飛散
火口周辺警報	火口から居住地域近くまで	3 (入山規制)	居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす（この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ）噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	住民は通常的生活。状況に応じて災害時要援護者の避難準備等。登山禁止や入山規制等危険な地域への立入規制等。	●噴石が火口から概ね2km以内に飛散、あるいは小噴火の拡大等により飛散が予想される。 <b>過去事例</b> 1968年12月～1969年3月：噴石飛散 1945年11月、1933年12月：新岳で割れ目噴火、火口から約1.9kmまで噴石飛散
		2 (火口周辺規制)	火口周辺に影響を及ぼす（この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ）噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	住民は通常的生活。火口周辺への立入規制等。	●小噴火が発生し、火口から概ね1km以内に噴石飛散。 <b>1980年9月の噴火事例</b> 新岳で割れ目噴火、火口から約700mまで噴石飛散 ●小噴火の発生が予想される。 <b>過去事例</b> 2006年9月の山体膨張 1996年3月、1999年8月、2000年1月、2003年2～4月の火山性地震増加 1932年7月：噴煙活動活発化
噴火予報	火口内等	1 (活火山であることに留意)	火山活動は静穏。火山活動の状態によって、火口内で火山灰の噴出等が見られる（この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ）。	状況に応じて火口内への立入規制等。	●火山活動は静穏、状況により火口内に影響する程度の噴出の可能性あり。 <b>過去事例</b> 2003年11月～2004年1月の状態

注) ここでいう噴石とは、主として風の影響を受けずに飛散する大きさのものとする。

各レベルにおける具体的な規制範囲等については地域防災計画等で定められています。各市町村にお問い合わせください。

■最新の噴火警戒レベルは気象庁HPでもご覧になれます。  
<http://www.jma.go.jp/jp/volcano/>

# 気象の状況

気象庁 平成27年29日10:30

## ■屋久島町を対象とした警報・注意報

なし

## ■天気予報 ( )

種子島地方・屋久島地方		地域時系列予報へ	降水確率	気温予報	
<b>今日29日</b> 	北東の風 後 東の風 くもり 昼過ぎ から 晴れ 所により 朝まで 雨 波 2メートル 後 1.5メートル		00-06	1%	種子島 日中の最高 25度
			06-12	10%	
			12-18	10%	
			18-24	0%	
<b>明日30日</b> 	南東の風 後 南の風 くもり 夜 雨 所により 雷を伴う 波 1.5メートル 後 1メートル		00-06	0%	種子島 朝の最低 日中の最高 19度 26度
			06-12	10%	
			12-18	30%	
			18-24	50%	

## ■週間天気予報

5月29日5時 鹿児島県の週間天気予報

日付	29金	30土	31日	1月	2火	3水	4木	
鹿児島県(奄美地方除く) 府県天気予報へ	晴のち曇 	曇のち雨 	曇時々雨 	晴時々曇 	晴時々曇 	曇時々晴 	曇一時雨 	
降水確率(%)	-/0/10/20	10/20/50/60	70	20	20	30	50	
信頼度	/	/	A	A	A	C	C	
鹿児島	最高(°C)	28	27	27 (25~28)	29 (26~31)	29 (26~32)	28 (26~30)	27 (25~28)
	最低(°C)	/	20	21 (20~23)	20 (19~22)	20 (18~22)	21 (19~22)	21 (20~23)
奄美地方 府県天気予報へ	曇時々晴 	曇一時雨 	曇一時雨 	曇時々晴 	曇時々晴 	曇時々晴 	曇 	
降水確率(%)	-/20/10/20	20/40/50/30	60	30	30	30	40	
信頼度	/	/	C	C	B	B	C	
名瀬	最高(°C)	27	28	30 (27~33)	29 (26~31)	30 (27~32)	30 (28~32)	31 (27~33)
	最低(°C)	/	23	23 (21~24)	22 (20~24)	23 (21~25)	23 (21~25)	24 (21~25)
平年値	降水量の合計		最高最低気温					
鹿児島	平年並 24 - 69mm		最低気温		最高気温			
名瀬	平年並 50 - 106mm		18.8 °C		26.5 °C			
			20.9 °C		26.9 °C			